

新 しん 緑 みどり ニュース



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
TEL. 045-984-2400 (代表) FAX. 045-983-4271
発行 地域医療連携室 TEL.045-984-6216 (直通)



遺伝性乳癌・卵巣癌(HBOC)について ～その特徴や検査方法は？～

横浜新緑総合病院 外科・乳腺外科部長 大地 哲也

【HBOCとは】

HBOCですが、2013年に米国の女優さんが、健康である乳房を乳がん発症予防のために切除したと発表されたことが話題となり、ご存知の方もいるかと思います。

HBOCとは、「BRCA1」もしくは「BRCA2」という遺伝子の変異をお持ちの方が乳がんや卵巣がんを発症しやすい状況のことで、遺伝性乳がん卵巣がん症候群 (Hereditary Breast and Ovarian Cancer, HBOC) と呼ばれます。BRCA遺伝子変異を持つ方が生涯に乳がんにかかる可能性は一般の6～12倍、卵巣がんでは8～60倍とされます。ただし、BRCA遺伝子変異をお持ちでも乳がんや卵巣がんを発症しない方もいます。

日本における乳がん発症は年間9万人で、そのうち3～5%がHBOC関連、卵巣がんは年間1万人で、そのうち10%がHBOC関連とされます。

【HBOCの可能性】

HBOCは遺伝性ですので、ご自分を含めたご家族に特定の傾向があります。

- ・40歳以下で乳がんを発症した
 - ・年齢を問わず卵巣がん（卵管がん 腹膜がん含む）を発症した
 - ・時期を問わず乳がんを2個以上発症した
 - ・男性で乳がんを発症した
 - ・ご本人含め3人以上の方が乳がんを発症した
 - ・トリプルネガティブ乳がんといわれた方がいる
 - ・BRCA遺伝子変異が確認された方がいる
- ひとつでも当てはまる方はHBOCである可能性が一般より高いといえます。

【HBOCの検査】

採血でBRCA遺伝子変異の有無を確認します。乳がんや卵巣がんをすでに発症していて図表1に該当する方は保険適用となり、費用は3割負担の方で約6万円です。

検査は検体を匿名化し、プライバシーの保護に最大限配慮して行います。

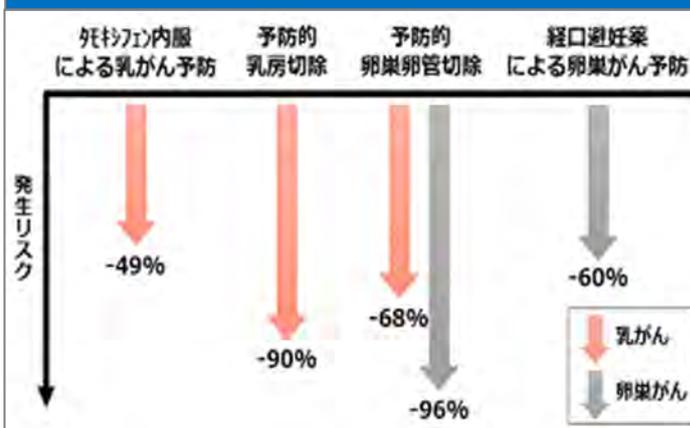
図表1 BRCA1, BRCA2遺伝学的検査が保険適用となる場合

1. 45歳以下の発症
2. 60歳以下のトリプルネガティブ乳がん
3. 2個以上の原発乳がん発症
4. 第3度近親者内に乳がんまたは卵巣がん発症者がいる
5. 男性乳がん
6. 卵巣がん・卵管がん・腹膜がんと診断された

【検査のメリットデメリット】

HBOC検査を受けてBRCA変異が見つかった場合、将来2つ目の乳がんや卵巣がんを発症するリスクがあるといえ、検診法の工夫や、図表2のようなリスク低減の検討に役立ちます。不利益は、自分の将来への不安や血縁者への罪悪感を持つことがあるかもしれないといわれます。

図表2 HBOCにおけるリスク低減手段 (遺伝性乳がん卵巣がん診療ハンドブックより)



【血縁者への影響】

HBOCは常染色体優性遺伝という形式で親から子へ50%の確率で遺伝します。遺伝に性差はなくHBOCの男性は、乳がん、前立腺がん、膵臓がんを発症しやすい傾向があります。遺伝専門医のカウンセリングを経て血縁者へのHBOC検査を行うことも自費診療で可能です。(続く)

(続き)【当院での取り組み】

当院では、保険適用の範囲でのHBOC検査を行っています。すでに当院や他院で乳がんの治療を終えた方でも該当する方は乳腺外科外来でご相談ください。

米国ではHBOCの方に若年からの造影乳房MRI検査が推奨されていますが、造影剤の長期繰り返し使用の安全性は確立していません。当院検診センターでは若年者特有のデンスブレスト（高濃度乳腺）の影響を受けにくい非造影乳房MRI(ドゥイブス・サーチ)を近日開始予定で、若年者への乳がん検診の充実にも努めています。



部門紹介 2021 | 6階HCU病棟

6階HCU病棟科長 町田 恵美 (写真・後列左)

HCUはHigh Care Unit (ハイケアユニット) の略で集中治療を必要とする患者さまに高度な治療と看護を行う病棟です。現在 8 床で運用しています。

救急車で搬送された患者さまや一般病棟で重篤化した患者さま、手術後集中治療が必要な患者さまを受け入れています。

多種多様な疾患、状態変化のリスクが高い重症の患者さまを対象としているため、幅広い知識、技術と観察力が求められています。HCUは全科対象ですが、現状では9割が脳神経外科患者で占められています。近年脳血管内治療も増えており、脳神経外科領域の知識・技術の習得を目指し、更にその他の診療科の入院患者さまにも対応できるように日々励んでいます。

脳神経外科疾患の多くは急に発症し変化するため、ご家族が不安になることも多々あると思います。そのためご家族に寄り添える看護を目指しています。HCUスタッフは皆明るく、仕事熱心です。

多職種で協働し皆さまに信頼される最良の診療・看護を提供できるよう努力をしております。



救急症例勉強会開催



当院は救急隊との連携強化を目的に、救急隊員の方を対象とした勉強会を定期的で開催しています。

昨年は新型コロナウイルスのため開催を見合わせましたが、今回、上野整形外科部長による「高齢者の骨折について」をテーマに、感染対策を行った会場に加え、オンラインでも参加できる形式で開催しました。オンライン開催としたことで横浜市内、市外から約200名の方にご参加いただきました。これからもWEBを活用してオンライン勉強会など、情報発信を行っていきます。



献血ご協力をお願い

患者さまに血液を安定的に届けるために、近隣の皆さまもぜひ、ご協力をお願いします。

日時：2021年8月31日（火） 10：00～16：00 場所：当院別館横

協賛：横浜みどりライオンズクラブ ※献血について 日本赤十字社ホームページ <https://www.jrc.or.jp/donation/>



WEB版みんなの健康講座

※オンライン配信

◇ WEB版みんなの健康講座バックナンバーはホームページ、スマホ（QRコード）からいつでもご視聴いただけます。

第1回 脱腸 ～意外と多い脱腸～

第6回 糖尿病網膜症について

第2回 知ろう！学ぼう！考えよう！乳がん

第7回 病気と思う前に～泌尿器科編②

第3回 骨粗鬆症と腰椎圧迫骨折

第8回 糖尿病腎症について

第4回 糖尿病と運動療法

第9回 膝が痛くて手術を受ける患者さまへ

第5回 病気と思う前に～泌尿器科編①



WEB版
みんなの健康講座